



わかば

北区立八幡小学校 ことばの教室
TEL・FAX (5963) 4521
令和8年2月25日 NO. 7

今年度も残りわずかとなりました。通級時間に、この一年間で頑張ったことや進級後に向けた抱負を話しながら振り返っています。一年の成長を確かめつつ、来年度へのさらなる飛躍へとつなげていけるよう、残りの日々の指導、支援を充実させていきます。

令和7年度3月～8年度4月の行事予定



3月の予定

- 4日(水) お話しグループ活動 13:45～14:45
- 16日(月) 個別指導終了



4月の予定

- 17日(金) 保護者会 (10:00～11:00) *後日配布する「保護者会のお知らせ」をご覧ください。
- 21日(火) 通級開始 (新1年生は5月の連休明けあたりより開始)
- 28日(火) 離任式



★新年度の通級について★

新年度の通級の曜日や時間は、進級後に、在籍学級の時間割や送迎の方のご都合、ことばの教室のスケジュールなどを調整して決定します。なお、火曜日は、研究会や研修会へ全教員出席するため指導時間から外させていただきます。水曜日の午後の時間帯の希望が多数となる傾向がありますが、月に1度開催される北区教育委員会の研究会や八幡小の校内研究等の関係で曜日を変更して振替実施となる場合があることをご了承ください。

通級の曜日や時間のご希望を事前にお聞きした上、保護者会で通級する曜日や時間をお知らせします。

ぜひ、ご都合をつけてご参加ください。保護者会を欠席される場合は電話またはFAXで、4月13日までにお知らせください。

ご不明な点などがございましたら、ことばの教室までお尋ねください。



ことばの教室講演会

「立ち直り力『レジリエンス』を育てる関わり」

東京学芸大学 教授 藤野 博先生

2月2日(月)に八幡小学校体育館にて、ことばの教室講演会を行いました。

最近教育現場で耳にすることが多くなった「レジリエンス」ということばですが、「レジリエンスとは?」「レジリエンスは、どうしたら育つのか?」といったことをテーマに、東京学芸大学教授 藤野博先生をお呼びして、子どもや大人のレジリエンスについて貴重なお話を伺うことができました。講演の内容を、一部ご紹介します。

レジリエンスとは

心が落ち込んでしまっても、元に戻す力、一言で言えば立ち直り力です。困難な環境にもかかわらずうまく適応する過程や能力、結果を言います。心の頑丈さというよりは、心のしなやかさです。

子どものレジリエンスを高めるには



- ① 日常生活の中で、子どもの話に耳を傾けるようにします。子どもの気持ちを受け止め、自己肯定感を高められるようにします(親の期待を押し付けずに肯定的に受け止めます)。普段の生活の中からできていることを見つけて褒めるようにします。そのためには周りの大人の自己肯定感が高いことも大切です。
- ② 子ども自身が目標・希望をもてるようにします。新たなことにチャレンジしていこうとする未来志向は自己肯定感を高めることに繋がります。
- ③ 自尊心(セルフエスティーム)は低すぎず、高すぎず、適度な状態を維持するようにします。自分自身を価値あるものと認識することは、他者から受け入れられているという感覚をもち、自発的・意欲的な行動や幸福感が増進されます。
- ④ 規則正しい生活習慣を確立します。早寝早起きなどの生活リズムを整え、気持ちよく一日を過ごせるようにします。

講演についてのご質問がありましたら、各担当にお声掛けください。

今年度もことばの教室の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。日頃からことばの教室での教育活動を進めていく中で、保護者の方や在籍校の先生方との連携の大切さを実感しています。来年度もよろしく願いいたします。